



工高タイムス

北海道旭川工業
高等学校新聞局
〒078-8804
北海道旭川市緑が丘
東4条1丁目1-1
発行人(局長)
村岡 良祐
(工業化学科3年)

ものづくり コンテスト

第25回ものづくりコンテスト全国大会北海道ブロック溶接部門、自動車整備部門、旋盤作業部門に電子機械科から計5人が出場する。大会へ向けての取り組みと意気込みを紹介する。

電子機械科

溶接部門

練習成果を発揮する

裏波溶接の加工に苦勞

電子機械科2年生の下里和真君は6月26～27日に札幌市の北海道地区溶接技術検定委員会で、行なわれる溶接部門に出場する。競技内容は30分以内で厚さ9mmの鋼材2枚の間を埋める溶接を行う。採点方法は減点方式で、外観試験と超音波で中の溶接がしっかりで行なわれているか、安全な作業ができているかなど。



下里君は「溶接部門の出場を決めたのは、以前溶接の仕事をしていた父から溶接について聞いてい

電子機械科

音で欠損箇所を発見

部品名を覚えるのが大変

電子機械科2年生の伊藤巧君と鈴木雅也君は8月5～6日に札幌市の専門学校北海道自動車整備大学で行なわれる自動車整備部門に出場する。競技内容はエンジンの故障探求、日常点検、部品の計測、学科試験の4つがある。旧自

電子機械科

旋盤作業部門

切削の正確性を意識

丁寧な作業を心掛ける

電子機械科3年生の千葉龍之介君と2年生の須田奏太君



切削する千葉君(機3)

は8月19～20日に札幌工業高校で行なわれる旋盤作業部門に出場する。練習は平日週2回一日2時間、大会の一か月前からは週5回で一日3時間行なう。競技内容は用意された鉄を図面通りに切削する。採点基準は寸法の正確さや時間、安全面などの評価だ。

千葉君は「切削がびったりになるように完成形から逆算している。速さよりも正確性を意識している。切削した表面が綺麗になるように機械の扱いに慣れたい。丁寧な作業を心掛ける」と話した。

須田君は「練習では材料を削っているときも頭の中で計算し、寸法を合わせている。一気に片側を削ると反対側がうまく削れなくなるので交互に入れ替えながら作業している。目標は優勝。練習の成果を発揮したい」と語った。



星の王子さまが好き

ボードゲーム体験会を実施

図書局長 佐藤学翔君(建3)



図書局は5月7～9日に「春のボードゲーム(ボードゲ)体験会」を図書館で開催した。「海底探検」や「ウボンゴ」など4種類のボードゲームを用意した。1日の来場者は平均で2～3人だった。

初は図書委員会のような活動をしていると思っていたが、ボードゲームをしていて驚いた。皆がフレンドリーで親しみやすいので入部した。私は周りの人をまとめるのが得意ではないが、少しでもまとめられるようになりたい。また皆にもっと本の楽しさを知ってほしいと思い局長になった。旭工以外の高校にはボードゲームがないところが多く、文化として伝えていきたい。

ボードゲーム体験会は秋や工高祭のときにも開催するので、ぜひ大勢の人に体験に来てほしい。



は楽しく練習に取り組みている。良い結果を出せるかは分からないが、大会では溶接の手順を守り、違反行為をしな

いように心掛けて練習の成果を発揮したい」と語った。

互いに欠損部分の問題を出し合ったりしている。

伊藤君は「車が好きで興味があったため出場を決めた。



液量を測る伊藤君(左)

知らないことが多く、一から覚えなければならぬので苦労している。初出場なので緊張しないで、自分ができる最大限を発揮したい」と話した。

鈴木君は「全道で優勝し全国へ行きたいので出場を決めた。部品などを覚えることに苦労している。自動車の基礎と整備の仕方を大会までに覚えていきたい。良い結果を残せるように頑張る」と語った。

バスケット部

39回連続全道大会に ベスト4入りを目指す

バスケットボール部は5月27～29日に旭川市総合体育館で行なわれた全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会旭川支部予選で準優勝し、39回連続の全道大会出場を決めた。全道大会は6月18～21日に札幌市で行なわれる。また、表彰式で居石慧君(機3)がベスト5の優秀選



部長の金川流輝君(土3)

手に選ばれた。部長の金川流輝君(土3)は「大会では一試合一試合を集中してプレーすることができた。全員が自分のできる最大限を発揮していた。優勝を目指してプレーしていたので、準優勝という結果で悔しかった。新人戦で全道に行けなかった分、今回の全道大会で良い成績を残せるように頑張りたい。ベスト4に入ることを目標にしている。全道大会まで

にディフェンスで1対1を守り切る力や、リバウンドを全員で取りに行くなどの力をつけたい」と語った。

居石君は「メンバーがたくさんボールを回してくれたのでチームの協力で優秀選手に選ばれたのだと思う。これからは全道大会に向けて気持ちを切り替えていく。ボール運びのミスをなくし、チームで



優秀選手の居石君

陸上部

6種目で全道へ 決勝出場を目標に

陸上部は5月21～23日に花咲スポーツ公園陸上競技場で行なわれた第78回北海道高等学校体育連盟陸上競技旭川支部予選に出場した。4×100mリレー、4×400mリレーと個人4種目で5人が入賞し、補欠を含め12人が6月17～20日に旭川市で行なわれる全道大会の出場権を得た。



4×100mリレーのメンバー

部長の加藤聖人君(土3)は「大会3か月前に足をけがをし、練習では悪化しないようにケアやストレッチで足に負担を掛けないようにした。今回は全道に出場する選手が多く、後輩には大会の雰囲気や緊張感を感じてほしい。4×400mリレーでバトンパスがうまくでき、予選でチームベストを2秒更新し、決勝戦ではさらに4秒短縮できて良かった。競技中に雨が降り、トラックは走りやすかったが、フィールドは体が冷えて本調子の投てきにならず残念だった。全道までに足のけがを治し、体力をもっとつけたい。全道には4×400mリレーが通用するので一人ひとりが52秒を出せるように頑張る。目標は決勝に出場すること」と語った。

から登山をして、優勝し全道大会に出場できるように頑張りたい。大会に向けてペーパー試験と行動テストを改善したい」と語った。

をしている。大会では計画書も審査されるので計画書を作る練習もしている。今回は知識の差で2位だったので全道大会では、みんな楽しんで

山岳部

全国大会出場を 「知識で勝ちたい」



全道大会に挑む山岳部のメンバー

山岳部は5月21～23日に十勝岳で行なわれた第64回北海道高等学校登山競技大会旭川支部予選会で準優勝し、6月24～27日に神居尻山と暑寒別岳で行なわれる全道大会への出場を決めた。競技は1ペーティ14人で1人が天気図、3人が登山コースの地形や登山に関する基礎知識などが出題される試験を解き、登山の実技審査などがある。全道大会には部長の中村泰輔君(化3)、斎藤翔太(機3)、野々村悠哉君(土2)、古俣權君(建2)の4人が出場する。中村君は「普段は天気図を読むことと体力トレーニング

空手道

男子団体 組手で優勝

一戦一戦を大切に

空手道は5月24日に留萌高校で行なわれた第50回北海道高等学校空手道選手権大会旭川支部予選大会に出場した。土木科3年生の秋好遥輝君、小森創介君、荻原魁大君と三村駿太君(化1)、上森謙太郎君(機1)の5人が5人制の男子団体組手で優勝。荻原君が男子個人組手で準優勝、



左から小森君(土3)、秋好君(土3)

川支部予選大会に出場した。土木科3年生の秋好遥輝君、小森創介君、荻原魁大君と三村駿太君(化1)、上森謙太郎君(機1)の5人が5人制の男子団体組手で優勝。荻原君が男子個人組手で準優勝、

荻原ゆあさん(化1)が女子個人型で準優勝、女子個人組手で3位に入賞した。全道大会は6月11～13日に札幌市で行なわれる。荻原君は「試合では自分から攻めることができ、中段突きや刻み突きを決められた。打ち終わった後に油断をして点数を取られたのが反省点だ。全道大会は選手のレベルが高いので1勝でも多く勝てるようにフットワークを速くし、ノーモーションで蹴り技を出せるように練習をする。メンバーが互いに応援をして士気を高めたい。目標は個人でベスト8、団体でベスト4」と語った。

秋好君は「初めてのチームだったが、団結して応援できた。全道大会までに組手の技を高めたい」と話した。小森君は「試合で体力が続かなかったので、練習でも試合時間の2分間を意識して組手をする。全道は強い選手が多いので勝てるように頑張る」と語った。荻原さんは「高校生で初めての大会で緊張したが、勝つことができた。型は兄や他の選手を見て勝てる自信がなかったが勝てて良かった。試合で視線が下がっていることがあったので、下がらないように気を付けた。練習は週1回なので空いている時間に練習をして自信をつけたい。型は鏡の前で確認をして道場の先生からアドバイスをもらい、組手で対人で練習している。全道大会には絶対に勝つという気持ちで大事にして挑みたい。一戦一戦を大切にして予選を突破したい」と話した。

高体連支部大会等結果

(全道出場のみ)

ソフトテニス部

男子 ダブルス

ベスト8 古屋大地君(機2)
岩崎駿介君(機1)

柔道部

男子団体 3位

男子個人 66kg級 5位 竹内空君(電3)
90kg級 5位 湯浅直君(建1)

陸上部

男子

400m	7位	鵜飼知也君(建3)
800m	4位	遠藤颯汰君(情3)
1500m	5位	村上蒼空君(電1)
砲丸投	2位	沼岡苾喜君(土2)
	5位	山田夕煌君(建2)
4×100mR	6位	高松優太君(化2)
		鹿間翔太君(化3)
		加藤聖人君(土3)
		鵜飼知也君(建3)
4×400mR	4位	鵜飼知也君(建3)
		遠藤颯汰君(情3)
		加藤聖人君(土3)
		鹿間翔太君(化3)

バレーボール部

優勝(4年連続)

山岳部

準優勝

バスケットボール部

準優勝(39回連続全道大会出場)

空手道

男子団体 組手 優勝

男子個人 組手 準優勝 荻原魁大君(土3)

女子個人 型 準優勝 荻原ゆあさん(化1)

組手 3位 荻原ゆあさん(化1)

水泳

男子 400m自由形 優勝 鈴木広大君(電2)

男子 1500m自由形 優勝 鈴木広大君(電2)

放送局

アナウンス部門 5位 宮島佳汰君(電3)

研究発表部門 4位 川上大地君(情2)

佐藤想汰君(電2)